

品質保証

当社グループは「顧客重視」を基本姿勢とし、技術革新と品質向上を通じて、社会とお客さまの期待を超える製品・サービスの提供を目指しています。工程ごとの品質の保証力を高めることで、製品の安定供給を支え、顧客満足と企業価値の向上に貢献しています。

品質方針

日本パーカライジンググループは、品質向上と技術革新を通じて、社会とお客さまの期待を超える製品・サービスの提供を目指し、顧客満足度の向上に努めます。

- 1. 品質マネジメントシステムの継続的改善を通じて、お客さまに確かな品質を提供します
- 2. 法令・規制要求事項を遵守し、お客さまに安心・安全な製品・サービスを提供します
- 3. 問題の再発・未然防止の徹底に取り組み、お客さまからの信頼獲得に努めます
- 4. 品質保証体制の透明性を高め、公正・誠実な企業活動を行います

グローバル品質体制

当社グループは「顧客重視」を基本に、品質を企業価値創造の原動力と位置づけ、全社一丸で品質向上に取り組んでいます。安全性・信頼性・法令遵守を基盤とした「品質方針」のもと、全従業員が品質重視の意識を持って業務に取り組み、組織全体の品質力を高めています。グローバルでは、

品質マネジメントの標準化を推進し、統一された監査基準とガイドラインに基づく活動を展開。海外子会社と本社が連携し、改善事例や教育体系の共有を通じて、グローバルな品質文化の醸成を図っています。

品質マネジメント体制

当社グループでは、薬品事業および加工事業の両領域において品質マネジメント体制を構築し、継続的な改善に取り組んでいます。

2025年3月時点でのISO9001の認証取得状況は右図のとおりです。

また、品質強化の一環として、自動車産業向けのIATF16949や航空宇宙産業向けJISQ9100の各種認証についても取得しています。

海外においては、現在、関係会社のすべてでISO9001の認証取得を目指し、グローバルな品質要求に応えられる体制づくりに努めています。

ISO9001 認証取得率（2025年3月末時点）

単体

製品製造5工場、加工11工場 計16工場

100%

国内連結子会社

装置製造・製品製造・加工 計10社

※国内連結子会社（全13社）のうち、上記事業に属さないパーカー技建工業・共同輸送・大関化学の3社を除く10社の取得状況（1社は未取得）

90%

海外連結子会社

装置製造・製品製造・加工 計17社

※海外連結子会社（主要17社）の取得状況（IATF16949取得も含む、1社は未取得）

94%

品質マネジメントシステム登録書は
当社ホームページを
ご覧ください。



薬品事業



受託加工事業

薬品製造における品質管理への主な取り組み

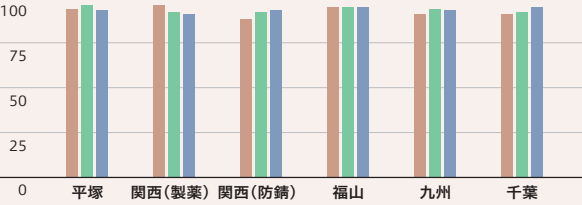
当社グループでは、薬品事業の全製造拠点および関係会社・外注先に対し、標準化された工程監査を通じて製造品質管理の強化を図っています。標準化工程監査では、製造・装置条件や作業標準の遵守、設備の“見える化”、リスク対策の実施状況などを点数化して評価し、拠点間の運用レベルの均質化を図っています。また、品質検査の自動化や工程内品質データのリアルタイム管理など、製造DXの活用も進めています。

2024年度には、国内6製造工場すべてが当社独自の評価基準に基づく監査で「優良工場」に認定されました。さらに、国内関係会社3拠点、海外関係会社9拠点、国内輸送委託先5拠点も「優良」または「認定」の評価を取得し、監査体制の定着と品質水準の底上げが進んでいます。

国内製造工場の標準化工程監査評価結果

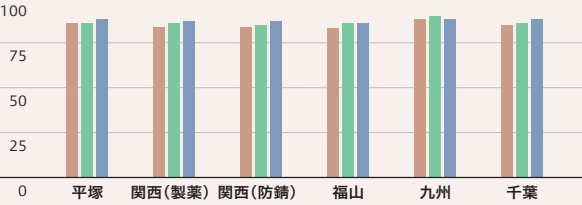
製造・装置条件 評価結果

（点）



見える化・識別 評価結果

（点）



■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度

* 国内製造工場：平塚第一、関西、福山第二、九州第一、千葉

受託加工における品質保証の主な取り組み

受託加工などの特殊工程では、工程保証の積み上げを通じて、品質の安定化と継続的な向上を図っています。加工条件や作業手順が製品品質に直接影響を及ぼすため、標準化された技術文書や手順書の整備・運用により、作業の均質化を確保しています。これらの活動は、工程ごとの保証力を高め、顧客満足度と企業価値の向上に貢献しています。

2024年度には、品質マネジメントシステムの継続的改善の一環として、共通手順書や技術標準類の整備を進めるとともに、検査工程では検査機器の標準化を推進。さらに、品質検査の自動化と検査結果の自動取り込みにより、ヒューマンエラーのリスクを低減しています。すでに複数工場で導入を完了しており、今後も順次展開を進め、品質のさらなる安定と向上を目指します。

品質に関する教育啓蒙活動と内部監査

当社グループでは、品質意識の醸成を図るため、トップメッセージの配信、品質標語を含むポスターの掲示だけでなく、毎年「コンプライアンス・品質強化月間」を設けて、各部署で課題をテーマアップするなど、さまざまな取り組みを行っています。

品質内部監査では、薬品事業と受託加工事業それぞれのスコープにて、QMS（品質マネジメントシステム）の運用状況および不適合に対する是正処置とその有効性を確認し、これらの結果をマネジメントレビューにおいて報告しています。また、検出された不適合に対する是正処置については、他拠点にも情報展開し、未然防止を図っています。